



平成25年6月25日

各位

上場会社名 ユニオンツール株式会社
 代表者 代表取締役社長 片山 貴雄
 (コード番号 6278)
 問合せ先責任者 専務取締役 田口 秀雄
 (TEL 03-5493-1001)

平成25年11月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年1月15日に公表した平成25年11月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、同年度の通期連結業績予想につきましては、現在精査中であり、詳細が整いましたところでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,287	445	508	332	15.93
今回修正予想(B)	8,500	640	1,135	875	42.38
増減額(B-A)	213	195	627	543	
増減率(%)	2.6	43.8	123.4	163.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年11月期第2四半期)	8,189	527	616	105	4.97

修正の理由

当社を取巻く営業環境は引き続き厳しい状況にあります。今般算出した業績予想値では、主に昨年後半からの急激な円安進行により、当初の想定を上回るものとなりました。加えて、効率重視のユーザーに向けた新製品が市場に浸透しつつあり、また、その他の新分野開拓をめざし注力している新製品(例えば、独自開発のダイヤモンド皮膜をほどこして、従来、切削が難しかった超硬合金を低コストで簡単に加工できるようにした超硬エンドミル「UDCシリーズ」や自動車製造関連を狙う転造ダイスなど)の高評価もあって、業績が安定しつつあります。

収益面では、新製品投入効果と原価低減効果により、従来予想を上回る見込みとなりました。主力事業が厳しい中でも利益率を改善させることができる見込みとなり、一定の評価をしているところであります。経常利益以下の収益については、想定を上回る為替差益の計上や株式市況の回復などから、大きな増額修正となりました。

以上